

大宮区役所新庁舎整備事業 (第3回) 市民ワークショップレポート



大宮区役所新庁舎整備事業「市民ワークショップ」第3回目の模様をお伝えします！

第3回となる今回は、第2回でとくに多くの意見をいただいた事案について事務局より検討状況を説明するとともに、建築模型に家具や人のミニチュアを入れて実際の利用イメージや空間のスケール感を把握してもらいました。その後「(仮称)ふれあいスペースの利用方法」「図書館の利用方法」「けやきテラス(2Fデッキ部分)の利用方法」「エスカレーターの配置方法」についてグループディスカッションを行っていただきました。

開催スケジュール

第1回(7月16日)
(市民会館おおみや)
○オリエンテーション
○整備事業概要、
事業者提案の説明
○現地視察
○グループ
ディスカッション等

第2回(7月30日)
(まちラボおおみや)
○前回の振り返り
○小中学生意見紹介
○グループ
ディスカッション
(模型・平面図)

第3回(8月20日)
(まちラボおおみや)
○市民意見等につ
いての検討状況説明
○グループ
ディスカッション
(模型・平面図)

第4回(9月3日)
(まちラボおおみや)
○報告会
○グループ
ディスカッション
(模型・平面図)
○全体のまとめ

運営体制

市民委員：25名(公募8名、各種市民団体等からの推薦者17名、)※市民委員は全回通して参加
事務局：32名(ファシリテーター2名、事業者21名、さいたま市担当課9名)
アシスタント：7名(東洋大学 工藤研究室の学生の方)

第2回の市民意見等についての検討状況を説明

○カフェ・コンビニの店舗イメージを事例写真を用いて紹介

- ・大宮の地元の商品、市内の授産施設で生産されたパン、大宮アルディージャのグッズ等も販売
- ・地域の市民の意見を取り入れながらの店舗づくり

○(仮称)ふれあいスペースの利用イメージの紹介

フリースペース	市民の憩いの場、イベント開催等
展示スペース	市民作品展示のための貸出
スタディールーム、 ワーキングルーム	自主学習スペース ワーキングルームは有料の個人席
ワークショップルーム	生涯学習活動、市民活動等

- ・市民同士の交流を図るため、定期的にイベントを開催していく
- ・イベント開催時はフリースペース、展示スペース、ワークショップスペースを一体的に活用
- ・市民が持っているノウハウを活かしながら、市民とともに作りあげていく



○建築模型に家具や人のミニチュア入れて各機能の利用イメージや動線計画を説明しました。

- ・総合案内、フリースペース、ガイダンスステップ、ステップリビング、区役所窓口、図書館等
- ・1階、2階、3階へとスパイラル状に続く動線計画

○エスカレーターの配置方法について説明しました

- ・第2回でエスカレーターは上りだけでなく下りも必要という意見が多く出た。
- ・エレベーターが別途設置されることとなっている
- ・エスカレーターはインシャルコストだけでなくランニングコストが多くかかる
- ・1階～3階まで上りエスカレーターを設置する案と1階～2階に上下のエスカレーターを設置する案を示す。

○テラス(2階デッキ)の利用方法について説明しました。

- ・第2回で氷川参道やカフェなどからも気軽にテラス上がれるようにしたほうがいいという意見が多く出た。
- ・当初案は、本を持ちだすことができる図書館用のテラスを想定
- ・図書館からテラスを解放し外からも上がれるテラスにする案と、テラスを図書館のエリアと外からも上がれるエリアに分割する案(分割案)を示す。

グループディスカッション・発表

5グループに分かれ、(仮称)ふれあいスペースの利用方法、「図書館の利用方法」、「けやきテラスの利用方法」「エスカレーターの配置方法」についてグループディスカッションを行いました。事務局側は建設・設計・維持管理運営・行政の各担当者が解説等に加わりディスカッションをサポートしました。最後に各グループの代表者がディスカッションのまとめを発表しました。

(詳細は次頁参照)

第3回のまとめ

最後に第3回のまとめとして、藤村先生より講評をいただきました。「私は事業者側ではなく外側からワークショップを見る立場になりますが、今回印象的だったのは、事業者側の中でも意見が分かれている課題をみなさんにオープンにして議論を進めていくというところでした。一方通行の議論ではなくて、双方向で議論されることによって最終形が浮かび上がってくるのだと思います。今日のディスカッションは時間も長く山場になったかと思います。次回は最終回となりますが、ここでやり取りさせていただいた内容が次回の発表に反映されてくると思いますのでぜひ楽しみにお待ちいただければと思います。」



各班の様子

<Aグループ>



- ・(仮称) ふれあいスペースは誰もが気軽に利用できるように管理運営してほしい(ネット予約)
- ・イベントを開催するときは事前周知が必要
- ・北海道剣淵町の絵本の館を参考にして児童書コーナーを充実させてほしい
- ・視聴覚室も必要である
- ・2階デッキにはいざというとき避難できるよう階段をつけたほうがいい
- ・セキュリティの観点から、テラスに持ちだす本は貸出手続きをしたものにしたいほうがいい

<Bグループ>



- ・テラスは図書館用と外部用で段差をつけてエリア分けしてもいいのではないかと
- ・テラスは子どもの安全確保や不審者対応が必要
- ・テラスは日常時とイベント時で利用方法を変えたいのではないかと
- ・エスカレーターは最近の図書館のウリである。上下で3階まであったほうがイメージもいい
- ・下りのエスカレーターは危険性もある。エレベーターだけでもいいのではないかと
- ・フリースペースの部分が少ないのではないかと

<Cグループ>



- ・(仮称) ふれあいスペースはフレキシブルな利用に対する管理・運営を行ってほしい
- ・(仮称) ふれあいスペースの利用方法は市民と一緒に考えてほしい。そのために市民を含めた協議会を設置してほしい
- ・エスカレーターは予算を確保して上下とも設置してほしい。
- ・トイレの数は男女比に配慮してほしい
- ・参道に面して広いテラスがあることは特徴なので、十分に活かすためには自由な利用ができるよう、外からも図書館からも利用できるように工夫してほしい

<Dグループ>



- ・(仮称) ふれあいスペースの運営はソフトが大事
- ・イベント情報や空席情報を発信してほしい
- ・相談窓口はプライバシーに配慮してほしい
- ・エスカレーターは上下設置してほしい
- ・ベビーカーや高齢者のことを考えるとエレベーターだけでもいい
- ・図書館は幼児を一時的に預けられるサービスを行ってほしい
- ・テラスは氷川参道に面しており、イベントなども行えて利用価値が高いので閉鎖的にするのは好ましくない
- ・テラスのセキュリティ確保も大事である

<Eグループ>



- ・一の鳥居から氷川神社までの拠点になるので、テラスや(仮称) ふれあいスペースの使い方を工夫してほしい。
- ・テラスはイベントスペースとしても活用したほうがよい(夏祭りのバンド演奏、演劇等)
- ・災害時には多くの人を受け入れられるようにしてほしい
- ・駅からの案内を含めておしゃれなサイン計画にしたい
- ・喫煙の煙が近隣の迷惑にならないよう配慮してほしい